

看護学部 看護学科							
氏名	松木 勇樹	職名	専任講師	専攻分野	疫学	学位名	博士(医学)
主要業績 (著書・研究論文併せて5点以内)							
【著書】							
1. 『基礎からの看護保健統計学 データの基本から多変量解析まで 第1版』東京図書 2022年6月							
2. 『よくわかる専門基礎講座 公衆衛生 第14版』金原出版 2024年2月 (共著)							
【論文】							
1. “Chemical Environment-Contaminating Substances in the Operating Room and Individual Exposure Levels” <i>Archives of Environmental Sciences and Environmental Toxicology</i> , Volume 2018; Issue 01, November, 2018 (共著)							
2. “Visualization and isolation of zone-specific murine hepatocytes that maintain distinct cytochrome P450 oxidase expression in primary culture” <i>Biochemical and Biophysical Research Communications</i> , Volume 528, July, 2020 (共著)							
3. “Modification of exosomes with carbonate apatite and a glycan polymer improves transduction efficiency and target cell selectivity.” <i>Biochemical and Biophysical Research Communications</i> . Volume 583, December, 2021 (共著)							
最近5年間の業績 (2019年度～2023年度)							
【著書】							
1. 『よくわかる専門基礎講座 公衆衛生 第11版』金原出版 2020年2月 (共著)							
2. 『よくわかる専門基礎講座 公衆衛生 第12版』金原出版 2021年2月 (共著)							
3. 『よくわかる専門基礎講座 公衆衛生 第13版』金原出版 2022年2月 (共著)							
4. 『基礎からの看護保健統計学 データの基本から多変量解析まで 第1版』東京図書 2022年6月 (共著)							
5. 『よくわかる専門基礎講座 公衆衛生 第14版』金原出版 2023年2月 (共著)							
6. 『Drug Delivery System (ドラッグデリバリーシステム)』じほうビジネスサービス 2023年9月 (共著)							
7. 『実験医学別冊 もっとよくわかる!線維化と疾患』羊土社 2023年10月 (共著)							
8. 『よくわかる専門基礎講座 公衆衛生 第15版』金原出版 2024年2月 (共著)							
【論文】							
1. “Visualization and isolation of zone-specific murine hepatocytes that maintain distinct cytochrome P450 oxidase expression in primary culture” <i>Biochemical and Biophysical Research Communications</i> , Volume 528, July, 2020 (共著)							
2. “External administration of moon jellyfish collagen solution accelerates physiological wound healing and							

improves delayed wound closure in diabetic model mice.” *Regenerative Therapy*, Volume 18, December, 2021

(共著)

3. “Modification of exosomes with carbonate apatite and a glycan polymer improves transduction efficiency and target cell selectivity.” *Biochemical and Biophysical Research Communications*. Volume 583, December, 2021

(共著)

【その他】

1. 「新型コロナウイルス感染症のワクチン開発」、『駒沢女子大学看護学部研究紀要』1号、2022年12月(単著)
2. 「DPV576を含有するクリーム状ゲルが女子柔道選手に対する練習後の疲労感, ストレス感, 睡眠および柔軟性に及ぼす影響」、『大阪体育大学紀要』第55巻、2024年2月

【学会発表】

1. 「総合型地域スポーツクラブ継続参加者の健康調査に関する研究」、第77回日本公衆衛生学会総会、2019年10月、福島県(共同)
2. 「造血系細胞が分泌するエクソソームを介した肝発生と障害肝修復の制御機構」、第26回肝細胞研究会、2019年5月、神奈川県(共同)
3. 「効率性と安全性に優れた新規修飾型エクソソームの開発と薬物輸送手段への応用」、第26回肝細胞研究会、2019年5月、神奈川県(共同)
4. 「効率性と安全性に優れたエクソソーム治療法の創生に向けたモニタリング用エクソソームの開発」、第33回肝類洞壁細胞研究会学術集会、2019年11~12月、大阪府(共同)
5. 「エクソソーム内包タンパク質 Opioid Growth factor receptor like-1 を介した肝発生と再生の制御機構」、第33回肝類洞壁細胞研究会学術集会、2019年11~12月、大阪府(共同)
6. 「エクソソーム治療法の創生に向けたモニタリング用エクソソームの開発」、第27回肝細胞研究会、2020年12月、オンライン(共同)
7. 「急性ならびに慢性肝傷害におけるエクソソーム内包因子 Opioid growth factor receptor-like 1 の発現意義」、第27回肝細胞研究会、2020年12月、オンライン(共同)
8. 「難治性肝疾患に対するエクソソーム医療の創生に向けた技術開発」、第34回肝類洞壁細胞研究会学術集会、2020年12月、福岡県(共同)
9. 「エクソソーム内包肝再生促進因子 OGFRL1 発現の臨床的意義」、第34回肝類洞壁細胞研究会学術集会、2020年12月、福岡県(共同)
10. 「新規修飾型エクソソームの開発に基づく取り組み効率と肝細胞選択性の向上」、第28回肝細胞研究会、2021年9月、兵庫県(共同)
11. 「標的細胞内のサイトゾル移行性と肝細胞指向性の向上を目的とした新規修飾エクソソームの開発」、第35回肝類洞壁細胞研究会学術集会、2021年12月、新潟県(共同)